

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
URL http://www.jaichi.jp TEL (052) 916-2251
Eメール info@jaichi.jp FAX (052) 916-2308

2005.7.10 No.903

発行責任者 梅野敏基 定価 10円
組合員の購読料は組合費のなかに含まれています

原水爆禁止2005年 世界大会へ行こう!

- ◆8月4日(木)～6日(土)広島世界大会
- ◆8月7日(日)～9日(火)長崎世界大会
- ◆8月4日(木)青年のつどい・広島 / 8月5日(金)自治体労働者のつどい / 女性のつどい・広島



怒り／総務省前で怒りのコール＝6・24中央行動

自治労連愛知は、この一年間、「憲法を仕事と暮らしに生かそう」と運動してきました。賃金破壊に大増税、社会保障制度の悪化、異常とも言える今の日本の実態は、憲法と相反する動きの中でさらに深刻化しています。7月16日の定期大会で一年間のたたかいを総括し、方針を確立します。

民主的で、安心して働くことのできる職場づくりをめざして

04賃金確定闘争は、6年連続での年収削減は阻止したものの、賃金据え置き、「給与構造を見直し」の具体化を報告に示すも、たたかいでした。「三位一体改革」による自治体財政破壊、総務省による「退職時特昇の廃止」の指導の中で進められました。11月5日に、公務・民間

労働組合の執行委員会で「賃下げ、首切り反対、全県労働者決起集会」を開催。700名の仲間が名古屋市内をデモ行進するなど、共同闘争を広げました。豊橋では調整手当の削減が提案され、蒲郡や西尾、知立など住居手当の見直し提案等が相次ぎました。攻撃を跳ね返すため、総

憲法改悪、大増税路線を許さず みんなの力で要求前進を

行動、尾東地区協では、11月24日、長久手町役場前で早朝決起集会などを行いました。厳しい情勢の中で、少ない単組で何らかの重点要求(育児時間の取得期間の改善、子の看護休暇制度の改善、臨時職員の忌引休暇取得、わたりの改善、年末年始手当引上げ等)を前進させました。



元気の出る集会に全国の仲間300人が集う＝6月3日～4日

確定闘争後も、マスコミ報道を背景に、通勤手当削減など手当に対する攻撃は強まっています。東栄町では、一方的な「うえい温泉」への異動提案に対し、県下の力を集中し、異動を撤回させました。また、倉田さん支援では、自治労連愛知県本部と西三河地区協は事務局幹事として、運動の一翼を担ってき

運動を発展させ悪政をストップ 憲法を仕事と暮らしに生かす

①自治労連作成のパンフレットなど活用し、憲法学習会をブロックや地区協議会で開催してきました。

2年連続で全国的な規模でトヨタ総行動でトヨタを包囲し、最賃闘争では、愛知の最低賃金を2円引き上げることができました。

たたかいの方向

①05人勧に向け、「給与

定期大会議案版 ダイジェスト



自衛隊はイラクから撤退せよ! 「九条」守ろうと3.19平和集会

員が要求の正当性に確信を持ち、たたかいに展望がもてる総学習を進め、生活改善もとめて要求前進に奮闘します。

③手当抑制攻撃に対してたたかいます。

④臨職・パートなど不安定雇用労働者の賃金・手当改善、組織化に全力をあげます。

⑤トヨタ総行動など、大企業の社会的責任を追及するたたかいを重視し、賃金底上げ、最賃闘争、公契約運動を進めます。

⑥秋の「自治体キャラバン」で、介護保険の保険料の単独減免が41自治体、利用料の単独減免は31自治体に広がりました。乳幼児医療の無料制度では、3自治体以外の自治体で県を上回る助成となりました。

③イラクへの自衛隊派兵では、11月14日、第8回こまき平和集会に約400名が参加。守山からの自衛隊派兵に反対し、1月16日「愛知県民集会」を守山・山下公園で開催。千人の人間の

たたかいの方向

憲法見直しは、戦争放棄の第9条だけでなく、基本的人権の尊重など、全面的な改悪が予測されます。憲法を職場と暮らしに生

かしてこそ、権利の拡充、暮らし改善が可能です。

①憲法学習を広げ、憲法改悪反対・憲法生かしの世論を広げます

②「自治体九条の会」「職場九条の会」「地域九条の会」などを広げます。

③小牧基地の強化、名古屋港への軍艦入港など、有事法制の具体化に反対します。

④被爆60年、戦争・被爆の実相広げ、核兵器廃絶をめざします。

⑤「教育基本法改悪」に反対します。

⑥サラリーマン大増税や消費税をはじめとした国民負担を押し付ける大増税路線を許さない取り組みを展開します。

⑦政府が狙う年金一元化を許さず、最低保障年金を求める運動を進めます。

⑧介護保険制度の見直しや障害者自立支援法の内容を明らかにし、安心して利用できる制度の拡充を求めます。

⑨国民健康保険の保険税(保険料)未納者の増加に対し、安易な保険証の取り上げ、短期証発行など許さず、制度改善を求めます。(裏面に続く)

住民に信頼される自治体・労働者めざし、地方自治の拡充を

①自治体リストラや住民の諸要求実現の運動では、保育父母の会ネット(蒲郡)、「市民犠牲性を許すな連絡会」での予算要求行動(名古屋)、コールセンター化問題アンケート(名古屋)、要求交流集会(名古屋)、保育懇談会の開催(豊橋)合併に関わって保育時間の変更問題で改悪阻止(新川)などの取り組みが行われました。

②第7回地方自治研究会全国集会には愛知から72名が参加しました。

③保育部会は県下全保育所訪問を粘り強く取り組み、医療部会も公立病院訪問を実施、現業評議会は給食まつりを行い、懇談や対話、住民との共同の取り組みを広げました。

④「介護・福祉」「交付税削減反対、平和と民主主義・公契約」などの課題について2回の自治体キャラバンを実施しました。



現評の仲間がとりくんだ名古屋給食まつり(鶴舞公園)

化しているもどで、住民の命と暮らしを守る役割が求められています。住民との共同を広げ、暮らしと人権を守る自治体めざします。

③自治体一共同を実践し、自治研活動を全ての単組で取り組みを進めます。来年(2006年)「第48回全国自治体学校」が名古屋で開催されます。発表・交流できるよう実践をつみあげましょう。

②職場懇談や住民懇談

組織を拡大・強化し 運動を前進させよう

①新規職員の組織化では、青年が実行委員会などを立ち上げ歓迎会など開催し、加入促進の奮闘が始まっています。9単組で100%加入を達成しました。

②臨時職員の組織化では、確定闘争で臨時・パートの要求でたたかった単組や歓迎会の参加を呼びかけるなどの取り組みで、名古屋市職・半田市職・蒲郡市職・西尾市職・新川などで組織化が進んでいます。

③市町村合併に伴い、木曾川町職労は一宮市役所労働組合に名称変更を行い組

織を拡大、新たにスタートしました。また、新川町職労、西枇杷島町職労が組織統合し、清須市職労としてスタートしています。

豊川市職労は、一宮町との合併を見据えて加入促進を強めています。

④春と秋の総学習、総対話は、毎回1万人が参加する取り組みとなっています。

⑤機関紙は、要求づくりから、学習まで組合員に直接知らせ、元気の出る組合の大きな武器となっています。

⑥2005年2月に開催された青年部主催の横浜・横須賀平和ツアーは、参加者92人の参加で成功させました。新規職員学習会、歓迎会と単組の新規職員の組織化に向けても大きな力を発揮しました。

たたかひの方向

運動を前進させるためには、労働組合運動の影響力を強めることが重要です。雇用形態の違いを超えて自治体や自治体関連職場に働く職員すべてに視野を広げ、組織拡大を図ること、元気な職場・労働組合活動を進めるために、組織強化を図り、運動を前進させましょう。

自治労連共済の取り組みについて

①春日井など新規組合員の共済学習会を開催し、共済の拡大をすすめました。

②自治体合併では、新川、西枇杷の統合で新たな組織加入の型を検討、一宮市労組が共済加入拡大を同時に行うなど取り組みがまします。

取り組みの方向

①自治労連共済を組織化など、組織強化拡大と結合して取り組みます。

②組織共済の全単組加入と個人共済の対組合員比を

核兵器廃絶の世論を広げよう

報告③
長坂圭造 県本部書記

5月1日セントラルパークで行なわれた集会には、広島・秋葉市長や長崎・伊藤市長も発言され、唄あり、踊りあり。ドイツのメンバーからイラク戦争反対、核兵器の廃絶の署名をもらうなど、平和を巡る運動や連帯の輪が確実に広がっていることも実感できました。

今回のNPT再検討会議への要請団が大きな前進を

での共同した統一行動へと発展し、核兵器も戦争もない流れとなっていることが明らかになっています。こうした流れを踏まえ、核兵器廃絶の運動を一層進め、「国民平和行進」や「広島・長崎世界大会」など成功させ、核兵器廃絶させる世論を一層広げていきましょう!



署名を訴える名古屋市職労の参加者



7月7日の合併を前に清須市職労を結成

職場の声

◆庭のあじさいが雨の中かやいています(市川雅美・蒲郡市職) ◆6月1〜3日、3日間にわたり給食試食会がありました。どの日もおいしく食べていただけ良かったです(鶴田澄子・名古屋市職) ◆清須市職労

の誕生誠におめでとうございませす。団結を力にますます発展をお祈りします(安藤富久・小坂井町職) ◆昨日、職場(教育支部)の本部団体交渉報告集がありました。これでもかというよいうな毎年厳しい状況が続いてこれから先どうなっちゃうのか本当に不安。若い人達はもっと不安でしょう

ネ。明るい話題もほしいネ(中村秋枝・豊橋市職) ◆もうすぐ梅雨入り。天気も気分も晴れません(青山清孝・瀬戸市職) ◆万博のお土産いただくたびに我が家はいつ行こうかと。予想できない天候と混雑ぶり(竹内弘子) ◆初めてクイズを解きました(高野弘子・岩倉市職) ◆カラ梅雨かと

思いきや恵みの雨と喜ぶべき?(杉浦智佳・西尾市職)

単組定期大会 & 新役員紹介

名水(6月29日)

執行委員長 山本 雅之
副委員長 近藤 睦美
書記長 大井 丈二
書記次長 水谷 達也
佐賀 達也

単組・地区協のとりくみ

憲法学習会 52人の参加で成功

〈尾北地区協・江南市職〉

6月23日尾北地区協と江南市職の共催で、憲法学習会を江南市市民文化会館で開催し、全体で52人の参加がありました。中村地区協議長があいさつ。鍵谷恒夫氏(弁護士・自由法曹団)が「憲法改正と地方自治」と題して講演。鍵谷氏は、憲法とは人権宣言と人権を守る仕組みを制定するものであるとし、憲法が由来した経緯と憲法9条の意義について強調されました。国民保護法と地方自治体に関わっては、国民保護計画のねらいが、国民の精神を緊張させる有事の訓練をさせるものと指摘されました。

バスハイウェイでイタリヤ村へー 組織強化のとりくみに

〈瀬戸市職労女性部〉

6月26日(日)、臨時職員組織強化と言うことでイタリヤ村とセントレアのバスハイウェイを行いました。家族含めて41人の参加(組合員13人、非組合員28人)。行きと帰りに平和と組合の学習会をしました。臨時協議会から組合の紹介もしてもらいました。参加費は千円。安いと言声もあありますが、まず取り組みが大事だと思っています。